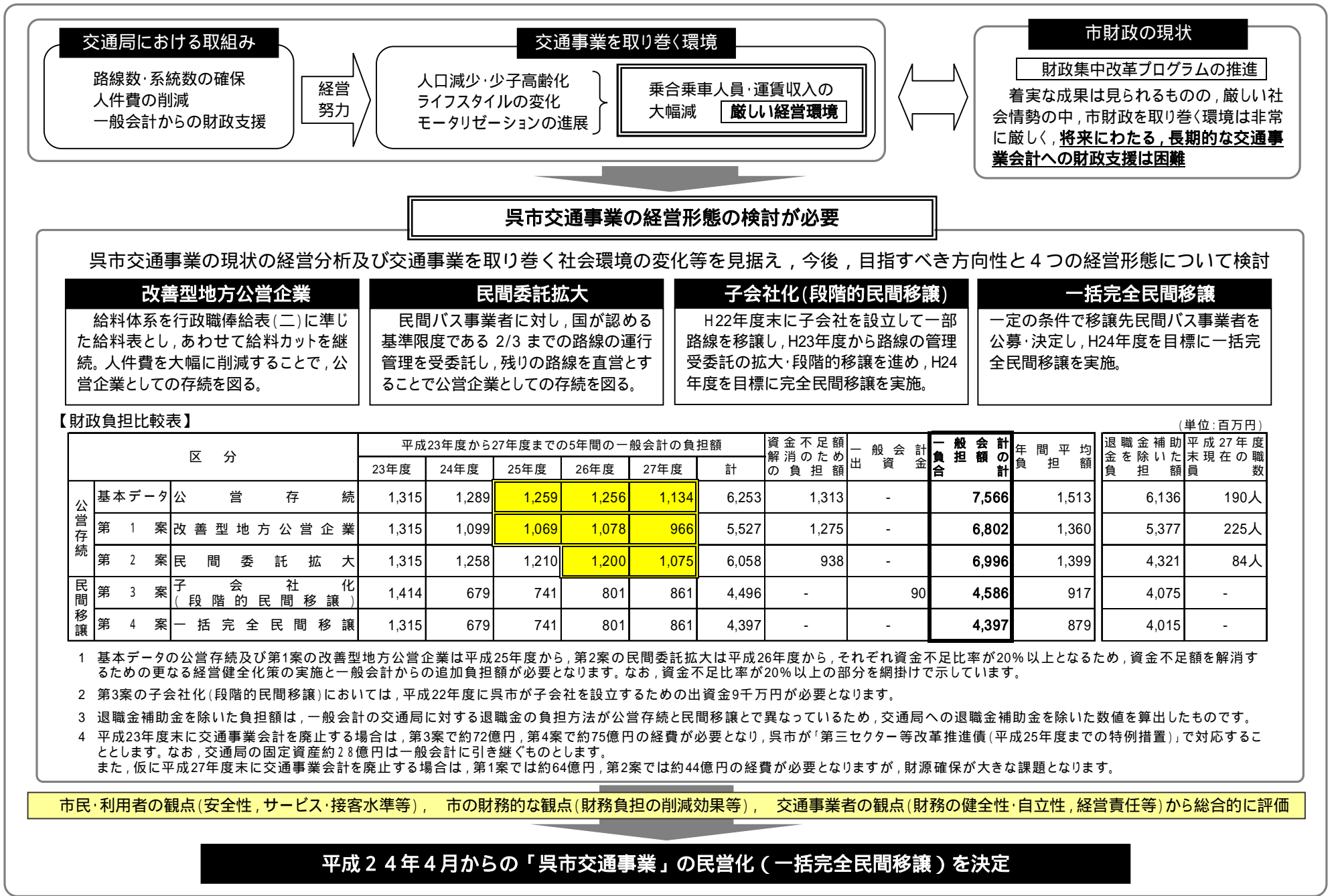


呉市交通局のバス路線について

1 呉市交通局の現状と経営形態の検討



2 路線移譲に係る運行事業者の公募及び決定

(1) 運行事業者の公募

公募要項の配布	平成22年10月4日(月)	応募受付	平成22年11月1日(月)～5日(金)
応募予定者説明会	平成22年10月21日(木)	プレゼンテーション	平成22年11月26日(金)

(2) 運行事業者の決定

上記(1)による公募の結果、民間バス事業者2者から応募があり、呉市バス運行事業者選定委員会において、提出書類の審査、応募者によるプレゼンテーション及び応募者に対するヒアリングを実施し、次の審査基準に基づいて審査した結果、**広島電鉄株式会社(第2順位:中国ジェイアールバス株式会社)**を選定。

【広島電鉄株式会社の概要】

(1) 設立	昭和17年4月10日	(6) 従業員数	1,302名 (平成22年3月31日現在)
(2) 本社所在地	広島市中区東千田町2丁目9番29号	(7) 車両保有数 (乗合バス事業)	408両 (平成22年4月1日現在)
(3) 資本金	23億3,562万5千円 (平成22年3月31日現在)	(8) 営業キロ (乗合バス事業)	1,026.3km (平成22年4月1日現在)
(4) 経常利益	3億5,111万円 (平成21年度)	(9) 輸送人員 (乗合バス事業)	33,612千人 (平成21年度)
(5) 主な事業内容	鉄・軌道事業, 自動車事業, 不動産事業	(10) 代表者	代表取締役社長 越智 秀信

【審査基準及び結果】

評価対象	満点	点数	
		広島電鉄	中国ジェイアールバス
(1) 運行の実現性	20	15.9	14.5
(2) 運行の安全性	20	15.9	15.5
(3) 運行の効率性	20	15.5	15.0
(4) 利用者の利便性向上と利用促進	20	16.4	13.2
(5) 公共交通機関としての姿勢	20	16.8	15.0
(6) 路線維持の安定性	40	30.0	30.0
(7) 乗務員等の採用方法及び処遇	40	35.5	23.6
(8) その他評価すべき事項	20	14.1	12.3
(9) 経営の安定性	20	15.0	12.5
合計	220	175.1	151.6

【評価した点】

項目	路線維持の安定性(呉市の財政負担額)
	公営交通事業で維持継続をした場合と比較して一定の財政負担額の削減が図られること。
項目	乗務員等の採用方法及び処遇
	・呉市交通局の職員を正社員として再雇用することとなっていること(正社員であれば、昇給昇格は可能であり、将来保障を会社から受けることができる)。 ・給与、勤務時間その他の労働条件が他社よりも優れていること。
項目	利用者の利便性向上と利用促進
	情報提供会社の活用、広電グループの観光部門と連携した観光客の誘致、地元商店街と連携してイベント時にバス情報の提供を行うなど、利用者の利便性に他社よりも積極的に取り組むとされていること。
項目	公共交通機関としての姿勢
	環境保全に関して、グリーン経営認証の取得を行っていること。また、高齢者等の福祉対策において高齢者向け区間フリー定期券の導入などを検討していくこととされており、環境面や高齢者対策に配慮があること。

3 民営化後の市民の移動手段確保に係る方針

市民の声

民間事業者の場合、「市民の移動手段を守られるかどうか不安」、「赤字路線は一方的に廃止されるのではないか」という不安の声

民営化後も必要な路線やサービスを維持

民営化に当たっては、事業者が運行を開始してから2年間は、民営化時点の路線や運行回数、運行時間帯、運賃制度の維持などについて協定を締結し、市民の交通手段を確保
敬老優待制度や心身障害者優待制度は継続する方針
民営化後は、市、民間事業者などの関係者で、協議会を設置するなど、市民の生活交通確保の立場から、市が責任をもって対応